

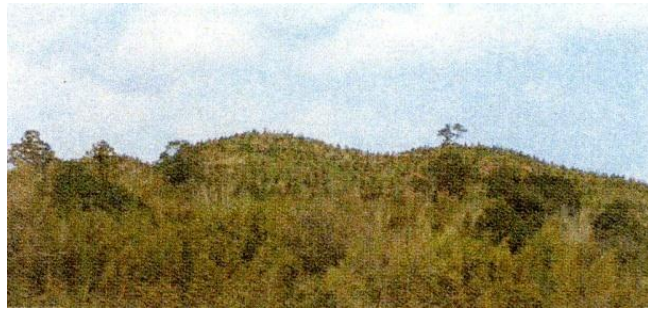
さん さき との やま こ ふん 三崎殿山古墳

さんさきとのやまこふん なんぶちようみさき
三崎殿山古墳は南部町三崎の
どくりつさんりよう
標高80mの独立山稜、殿山の
ちようじよう りつち ぜんぽうこうえんふん
頂上に立地する前方後円墳で、
全長が108m、高さ8mの規模
にしほうき
を持つ西伯耆最大の古墳です。
まいそうしせつ しゆつどいぶつ
埋葬施設や出土遺物は不明で
すが、形や規模から古墳時代中
期初頭（4世紀末）の古墳と考
えられています。

古墳の大きさから、まいそう
た人は西伯耆一帯を支配した豪
にしほうき いたい ころ
族であったと考えられます。



三崎殿山古墳遠望



三崎殿山古墳